



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp

竹とんぼ



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌



以前にも「飛行日誌」に書きましたが、今回新たな情報を得て再び同じ話題を紹介します。それは、金城和昌会長と話した緑樹会の経営理念である「福祉」や「家族」のことです。

ヒトが人間になる進化の過程で、すでに脳に「福祉野」（例えば運動野とか感覚野みたいな）なるものが培われ、しかもそれは「弱いものを助ける心」と家族の成り立ちが密接に結びついてきたのではないか、と金城会長は話していました。

先達で放映されたNHKスペシャル『人類誕生』が、まるで私たちの話を説明しているようで驚きました。たぶん多くの方がその番組を観たと思いますが、端折って紹介しますと次のような話です。

四百四十万年前、地殻の大変動によってアフリカ大陸の森が縮小し、木の実や果物などが減って、たまたま森の中で二足歩行をしていたサルが、餌を確保するのに有利になつたということです。しかもオスが複数のメスを従えてハーレムをつくるより、一夫一妻の方が子孫を残すのに合理的（餌を確実に子供に供給するシステムとして）であり、そのことで「家族をもつヒト」が誕生したとのことです。それから、危険から身を守り、餌を効率的に得るために人類の祖先は「仲間をもつヒト」になり、石器を使うことで「道具をもつヒト」になつていったそうです。

彼らは道具を得て狩が上手になり、日常的に肉を食べることで脳が発達して「思いやり」や「介護」をする「心をもつヒト」に進化してきました。ちょっと大げさかもしれないけれど、まさにあの時の「福祉野」が甦ったようでした。金城会長が「福祉野」の話をしたのはもう何年も前のことです。緑樹会の経営理念の基本が「家族」と「福祉」であることに「家族の起源こそ、福祉の源流である」と言っていた会長の言葉が印象的です。

手前味噌で恐縮ですが、わが緑樹会の経営理念が『人類誕生』の大河の流れから生まれたような気がして、なんだか誇らしく思いました。（富永 健）

緑樹苑デイサービスセンター



4月誕生会



4月17日(火)、4月生まれの誕生会が行われた。みどり学童クラブから新一年生の児童達が参加し、利用者の皆さんと交流した。利用者の皆さんは、新一年生の初々を緩ませ、握手会では、「一人ひとりに声をかけるなど、笑顔で楽しんでいた。

(森山亜紀)

移動水族館見学



4月19日(木)、地域に移動水族館がやって来ることで、見学に出かけた。利用者の皆さんは、「初めて見た」という方もおり、水槽を泳ぐ色とりどりの魚たちに興味津々。また、「この魚は煮つけにすると美味しいよ」と話す利用者もおり、水族館スタッフやほかの皆さんも大笑いしていた。

(源河康弘)



4月18日(水)、「浜下り」に出かけた。

目的地に向かう車中では、皆で歌を歌いながら楽しんでいた。目的地の海岸に到着し、利用者の皆さんは海水で手を洗い「お清め」をした。その後、心地良い潮風を感じながら景色と会話を楽しみ、「楽しかった」と喜びの声が聞かれた。

(清水寿二)

浜下り



母の日祝い会

5月10日(木)、母の日お祝い会が行われた。利用者と職員による『かぎやで風節』で幕開けし、参加した女性利用者の方々は、はじめは緊張している様子であったが、徐々に笑顔へと変わっていた。利用者によるカラオケでは、『十九の春』や、『ボケない小唄・ボケます小唄』を熱唱し、みんなの笑顔が一段と輝いた。



5月誕生会

5月17日(木)、5月生まれの方の誕生会が開催された。誕生者を代表しての福里ユキ子さんが、「この施設があるから楽しくすごせております、どうぞこれからもよろしくお願い致します」と感謝の気持ちを述べた。余興では、職員による三線民謡ショーや、ヤングマンダンスなどが披露され、大いに盛り上った。最後に全員でカチャーシーを踊り笑顔であふれる誕生会となった。



ケアハウスていんさぐぬ花

4月18日(水)、利用者14名職員9名で『浜下り』に出かけた。西原町から与那原町にかけてドライブを楽しみ、車内では、「ここは何処ね?」「久しぶりに来た」など会話が弾んだ。

この日は天候も良く、4月とは思えないほどの日差しの中、全員で海をバックに記念撮影をした。おやつに天ぷらやお菓子などほおばり、景色を楽しみながら楽しい時間過ごした。



竹とんぼ

みどり学童クラブ

5月に入り、どんどん暑くなってきました。5月16日の園外活動では、県総合運動公園で遊んだ後、隣接する海辺へ行きました。石ころ投げの勝負をしたり、きれいな貝殻を探したり、生き物の観察をするなど楽しんでいました。



また、最近、女の子たちの中では、お店ごっこが流行っています。アイス屋さん、お寿司屋さんと、折り紙で商品を作って、店員役お客様役を決めて楽しんでいました。



5月21日の園外活動は、八重島公園に行きました。ちょうどややバッタなど手や帽子を使って捕まえ、観察を楽しみ、帰る時にちゃんと逃がしてあげました。



緑樹会後援会総会＆懇親会のご案内

平成30年度緑樹会後援会総会を下記の日程で開催いたします。総会終了後には懇親会も予定しておりますので、友人や知人お誘いあわせのうえ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。また、当日は平成30年度後援会年会費(2,400円)の納入を、お願い申し上げます。なお、当日のご参加が難しいようであれば、下記口座への振り込みをお願いいたします。

緑樹会後援会総会＆懇親会

- ◆日 時:6月21日(木) 総 会 18:00～18:30
懇親会 18:30～20:00
- ◆場 所:ケアハウスていんさぐぬ花
(沖縄市比屋根1-5-8)
- ◆参加費:1,000円(懇親会飲食代として)

《年会費振込先》
沖縄銀行コザ支店 普通預金1428115
口座名:(福)緑樹会 グリーン
代表 山城哲也
年会費:2,400円

竹とんぼ

地域包括支援センターPRイベント 「地域包括支援センターってなぁに?」



4月26日・27日、沖縄市内七カ所の地域包括支援センターPRイベントが開催されました。イベントに参加し、相談コーナーやパネル展示、内容説明を行つていただきたいと思います。ぜひ、皆さんのが集まる場所などに呼んで下さいね☆(比嘉久美子)



いきいき百歳体操 体験コーナー



平成30年度ぬちぐすい講座が始まります

沖縄市地域包括支援センター(西部北)

住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、ご自身のため、友人・知人のため、隣人のため、地域でできる事などを一緒に考えていく講座です。

場 所:ケアハウスはいびすかす会議室
(沖縄市胡屋7-1-21)

時 間:10:00～12:00

申込・お問合せ
電 話:098-988-5525 (お申し込みは、日程の3日前までにお願いします。)
FAX:098-988-5526 沖縄市地域包括支援センター西部北 担当:比嘉久美子



6月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(金)			映写会	手芸クラブ	
2(土)			ボウリング		園外活動
3(日)			カラオケ		
4(月)		民舞クラブ	輪投げ		
5(火)			スカッシュボール		
6(水)		ミニシアター	歌会		
7(木)		カラオケクラブ	手工芸	ハンドマッサージ	
8(金)		手芸クラブ	映写会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板	
9(土)	地バーリー	地バーリー	ボウリング・地バーリー	地バーリー	園外活動・読み聞かせ
10(日)			カラオケ		
11(月)		書道クラブ	輪投げ	手作りおやつ会	
12(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ		
13(水)		防災訓練	父の日祝い会		
14(木)	防災訓練	手作りおやつ会	防災訓練	父の日会・防災訓練	
15(金)	父の日会	父の日会	映写会	手芸クラブ・カフェタイム	
16(土)			ボウリング		園外活動
17(日)			カラオケ		
18(月)		お茶会	輪投げ		
19(火)		ミニドライブ	スカッシュボール		
20(水)		ミニシアター	歌会	誕生会	
21(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会・後援会総会懇親会		
22(金)		誕生会	映写会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板	
23(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ
24(日)			カラオケ		
25(月)		書道クラブ	輪投げ		
26(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ		
27(水)	防災訓練	防災訓練	歌会	防災訓練	
28(木)		散髪・民舞クラブ	手工芸		
29(金)	誕生会		映写会	手芸クラブ	
30(土)			ボウリング		園外活動

先日の新聞に「要介護高齢者770万人」という見出しがありました。団塊の世代が75歳以上となり社会保障費の大幅増が予想される「2025年問題」を7年後に控え、現在より141万人増えると推計されています。沖縄県においても1・27倍の6万9720人にのぼると試算されています。現在においても、財源や人手の確保が大きな社会問題化するなか、輪をかけて負担の増大が懸念されます。

介護予防について、月号の記事で紹介していますが、地域包括支援センターの取り組みを紹介するイベントが行われました。その中でも『介護予防』に関する取り組みが多くありました。保険法改正で、その重要性が謳われて久しいのですが、改めて、予防に関する取り組みの大切さが問われています。(砂川智規)

編集後記

(平成三十年四月一日～四月三十日)
（物品の部）
儀部孝之様

感謝録

温かい御支援、御協力下さいまして
の方々に、厚く御礼申し上げます。

